

## は し が き

言語センター長 君 羅 久 則

言語センター広報 *Language Studies* の第 15 号をお届けいたします。マルチメディア LL 教室が完成して 2 年目となり、多くの授業で利用されています。また、昨年 7 月に本学教育開発センターの協力により、導入された英語の e-Learning システムも 2 年目を向かえるにあたって、バージョンアップを実現し、以前にも増して使いやすいシステムになりました。これは、TOEIC テスト風の英語学習のコンテンツを含んだシステムで、英語の学習と教育に特化されていますが、今後は近い将来に他の外国語の教育や学生の学習においても利用できるシステムの構築を目指していきたいと考えています。本学には、外国語教育重視の伝統がありますが、その大きな要素として、語学実習室などの設備や施設を進取の精神で整備し、教授法などの発展に合わせて、教育や学習に役立てて来たことがあげられます。このようなソフトウェア面も含めた教育環境の整備を常に図っていくことは非常に重要なことであると考えています。外国語の教授法や学生の学習の仕方にも様々な可能性を生み出し、FD の改善と発展にも大きく寄与することにもなるからです。マルチメディア LL が完成し、e-Learning を活用した授業が可能になってきますと、その利便性と有効性が確認されてきたせいでしょうか、開設されるクラス数に比べて、施設の数不足という結果もでてきて、授業計画を策定する時期には頭を悩まさなければなりません。この点は、時間割の改善、あるいはマルチメディア LL のような施設 (CALL 教室) の新規導入なども含めて今後早急に解決を図る必要があると考えています。

ネイティブ・スピーカーによる外国語会話の公開講座は、今年度も韓国語の講座も含めて 5 講座が開講されました。春から初夏にかけて、マーク・ホルスト助教授による英会話講座、本学ロシア語の非常勤講師であるアレクサンドル・スペヴァコフスキー氏によるロシア語会話講座、裴崢教授による中国語会話講座、非常勤講師宣憲洋氏による韓国語講座の 5 講座が実施されました。この公開講座は、言語センターが平成 5 年度から毎年開催しており、韓国語講座、英会話講座を除いて受講者は必ずしも多くはありませんが、全講座とも熱心なリピーターもあり、受講された方々にはたいへん好評でした。

平成 16 年度から実施してきた、小樽まち育て運営協議会主催の OJT リーダー養成のための語学研修が、今年も同協議会より言語センターが委託を受ける形で、平成 18 年 11 月から開始され、来年 3 月まで続けられる予定です。今年度は英語、中国語、韓国語の 3 言語について、教室での語学研修、受講生の職場における現場研修を行ない、これらの研修に基づいて、昨年度作成した『外国語会話集』(小樽まち育て運営協議会、2006 年)の補遺編を今年度も作成する予定です。

言語センター関係の教員の異動についてお知らせします。本学外国人教師のブライアン・ペリー先生は、平成 18 年 3 月末日をもって退職され、イギリスに帰国されました。同じく外国人教師のマーク・ホルスト先生は平成 18 年 4 月 1 日より、言語センター助教授になりました。

本学の教官と、高校や中学校で教員をしている本学卒業生とでつくる教職研究会の第 19 回大会が平成 18 年 12 月 9 日に言語センターマルチメディアホールとマルチメディア LL を会場として開催されました。今年度は、本学言語センター高井收教授が「異文化体験から見えるもの」

と題して講演を行なったほか、本学大学院生や、卒業生の高等学校教員の研究発表、「IT 機器利用の授業づくり」をテーマとしたセミナーが行なわれました。本学卒業生を中心に、本学教員、学生、院生なども含めて 60 数名の参加がありました。

さて、言語センター所属の教官の海外出張と研修についてご報告いたします。個別言語部門ドイツ語系の副島美由紀教授は、ベルリン自由大学、レオ-ヴァルター-シュピース資料室、デンパサル・ヴァルター・シュピース協会に在外研究中ですが、平成 19 年 3 月 15 日に帰国される予定です。個別言語部門英語系の羽村貴史助教授は、現在、マサチューセッツ大学アマーフト校にて在外研究中ですが、平成 19 年 3 月 10 日に帰国される予定です。同じく英語系の高井収教授は、ポートランド州立大学に平成 18 年 3 月 25 日～平成 18 年 4 月 5 日、平成 18 年 8 月 25 日～平成 18 年 9 月 6 日、平成 18 年 8 月 25 日～平成 18 年 9 月 6 日、及び平成 18 年 12 月 23 日～平成 19 年 1 月 9 日に出張されました。個別言語部門ロシア語系の山田久就助教授は科学研究費補助金により、ロシア国立図書館等に平成 18 年 2 月 22 日～平成 18 年 3 月 17 日、平成 18 年 8 月 30 日～平成 18 年 9 月 29 日、平成 18 年 12 月 20 日～平成 19 年 1 月 5 日に出張された他、大英博物館、大英図書館に平成 18 年 3 月 22 日～平成 18 年 3 月 31 日、またルーブル美術館に平成 18 年 11 月 21 日～平成 18 年 11 月 27 日の間、出張されました。個別言語部門中国語系の裴崢教授は、Institute of Political Studies (パリ市) に平成 18 年 2 月 16 日～平成 18 年 3 月 9 日、北京師範大学および揚州大学に平成 18 年 3 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日、平成 18 年 8 月 3 日～平成 18 年 8 月 16 日、平成 18 年 12 月 22 日～平成 19 年 1 月 10 日の間、出張されました。外国人教師のブライアン・ペリー教官はイギリス、ウォリック大学に平成 18 年 2 月 7 日～平成 18 年 2 月 23 日の間、出張されました。個別言語部門英語系のクランキー・ショーン助教授は、シドニーに平成 18 年 8 月 20 日～平成 18 年 9 月 4 日の間、出張されました。個別言語部門フランス語系の江口修教授は平成 18 年度日本留学フェア出席と協定締結に関する大学折衝のためカナダ・モントリオール市及びオタワ市に平成 18 年 5 月 22 日～平成 18 年 5 月 28 日、また、国大協の依頼により第 4 回日仏高等教育シンポジウムへの参加とシンポジウム関係者との日仏高等教育連携に関する協議のためフランス・グルノーブル市及びパリ市に平成 18 年 10 月 3 日～平成 18 年 10 月 11 日の間、出張されたほか、ジュネーブ大学付属宗教改革史研究所、ローザンヌ大学図書館、ディジョン大学に平成 18 年 6 月 28 日～平成 18 年 7 月 3 日の間、出張されました。個別言語部門英語系の大島稔教授は科学研究費補助金による調査のため、ロシア連邦カムチャツカ州とコリヤーク自治区に平成 18 年 7 月 30 日～平成 18 年 8 月 31 日の間、出張され、同じく英語系の吉田直希助教授は学会発表等のため、カナダ・モントリオール市と米国ニューヨーク市に平成 18 年 3 月 29 日～平成 18 年 4 月 7 日の間、また、米国スタンフォード大学に平成 18 年 9 月 12 日～平成 18 年 9 月 29 日の間、出張されました。

個別言語部門英語系の杉村泰教教授は、平成 19 年 3 月から 1 年間、ケンブリッジ大学での本学派遣の在外研究員として出張される予定です。

例年の通り、今年も学生の活躍で特記すべきことがありましたので、お知らせしておきます。いずれもドイツ語関係ですが、京都外国語大学主催弁論大会(12 月 2 日開催)において本学の学生が 4 位入賞をはたしました。オーストリア政府公認ドイツ語検定試験において本学学生 2 名が中級(大学入学基準)に、また、独検(ドイツ語技能検定試験)で 2 名の学生が 2 級に、それぞれ合格しました。